

## R7208SB/R7308SB ソフトウェアアップデート方法

R7208SB/R7308SB は Futaba WEB サイトからデータをダウンロードして最新のソフトへ更新することができます。

※記載されているパソコンの各表示画面は一例です。機種により異なる場合がありますのでご了承ください。

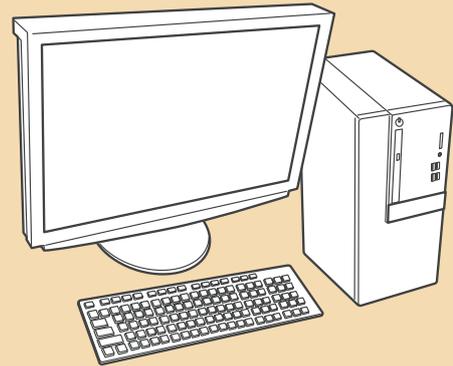
### 必要なもの：CIU-3 を使用する場合

#### CIU-3

※CIU-2は使用できません。



CGY750/GY701/GY520用コード

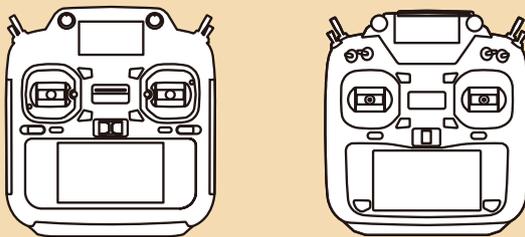


インターネットに  
接続可能なパソコン

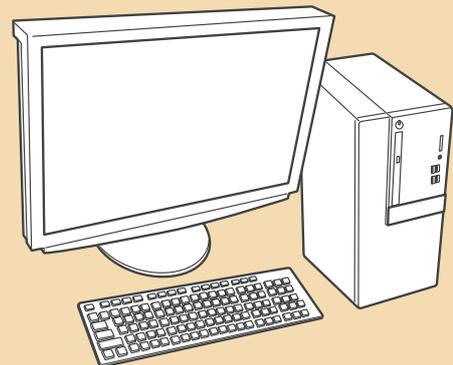
### 必要なもの：T16IZS(V4.0~), T16IZ(V6.0~), T26SZ を使用する場合



microSDカード



T26SZ あるいは  
T16IZS(V4.0~), T16IZ(V6.0~)



インターネットに  
接続可能なパソコン



CGY750/GY701/GY520用コード

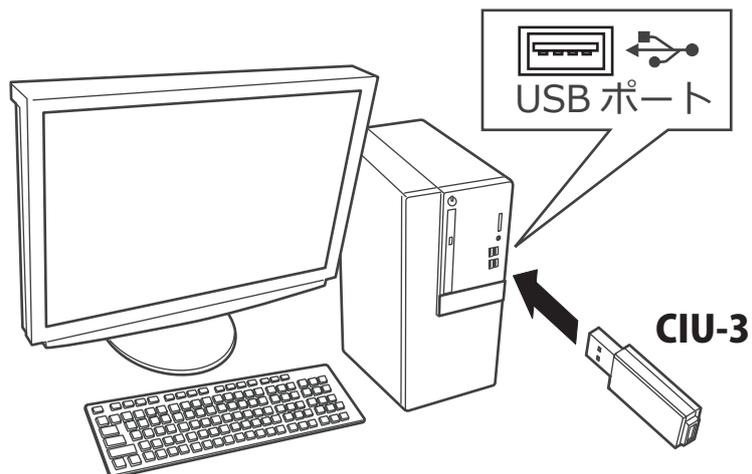
受信機用バッテリー



# CIU-3 を使用する場合

## 事前の準備

1. パソコンへ CIU-3 のドライバソフトをインストールします。



CIU-3 は初めてパソコンへ接続すると自動でドライバソフトがインストールされます。

## アップデート手順

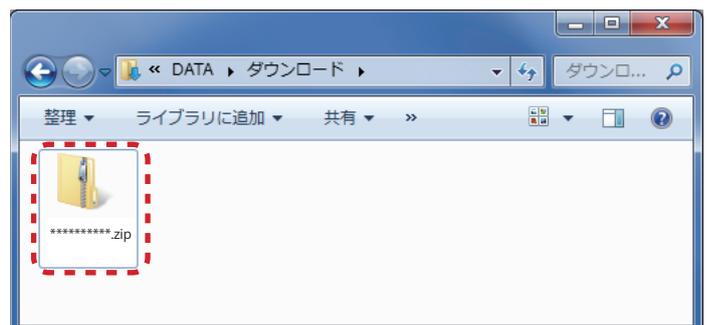
1. アップデートファイルを Futaba WEB よりお持ちの PC にダウンロードします。

<https://www.rc.futaba.co.jp/>



2. ダウンロードしたアップデートファイル (zip 圧縮形式) を展開 (解凍) します。

zip ファイルの展開 (解凍) 例 (PC により異なります。)



ダウンロードページしたアップデートファイルを、エクスプローラで開きます。



「ファイルをすべて展開」ボタンをクリックします。



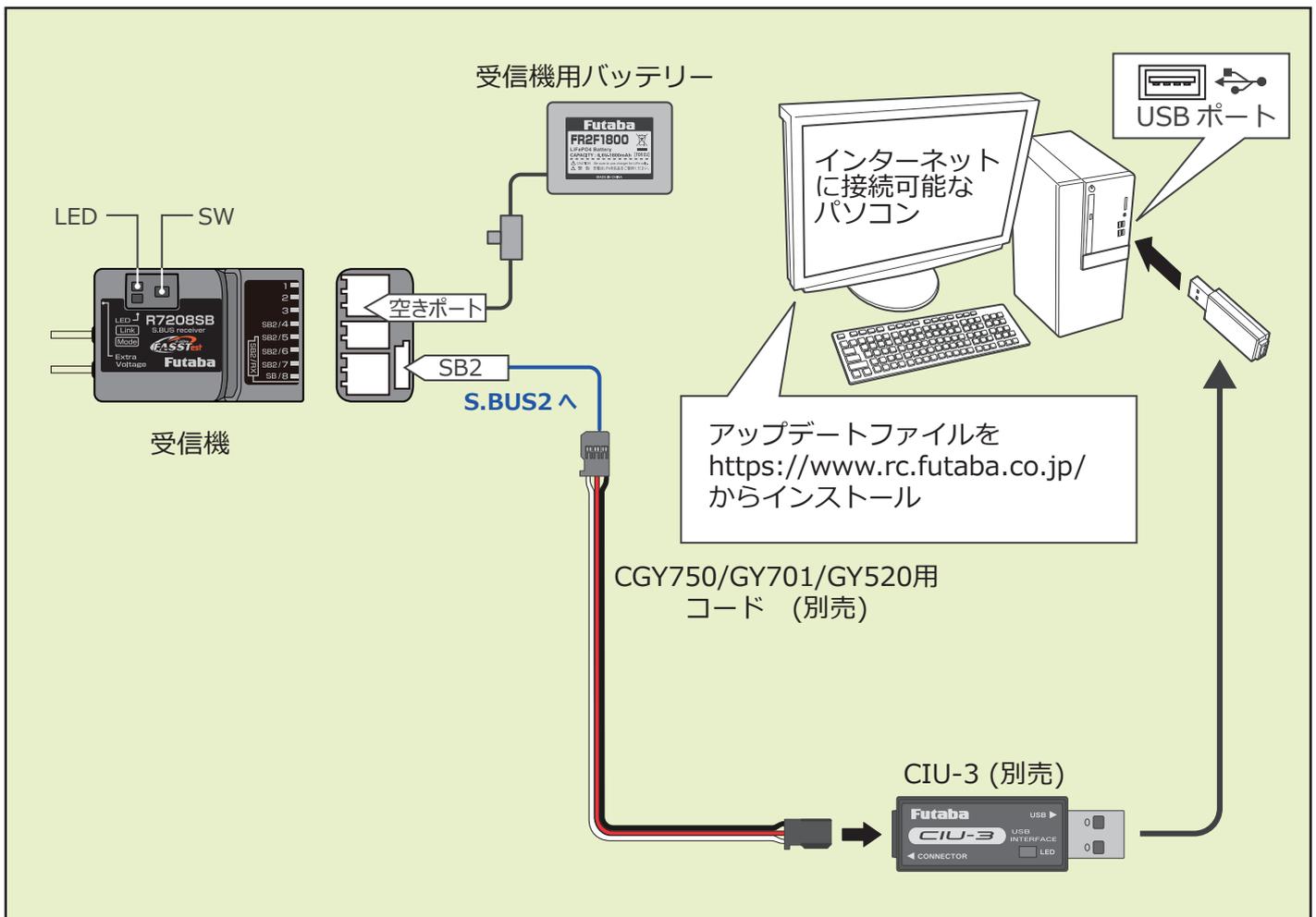
「完了時に展開されたファイルを表示する」がチェックされていることを確認し、「展開」ボタンをクリックします。

3. 展開（解凍）されたアップデートファイルをパソコンへコピーして同じフォルダへ入れます。

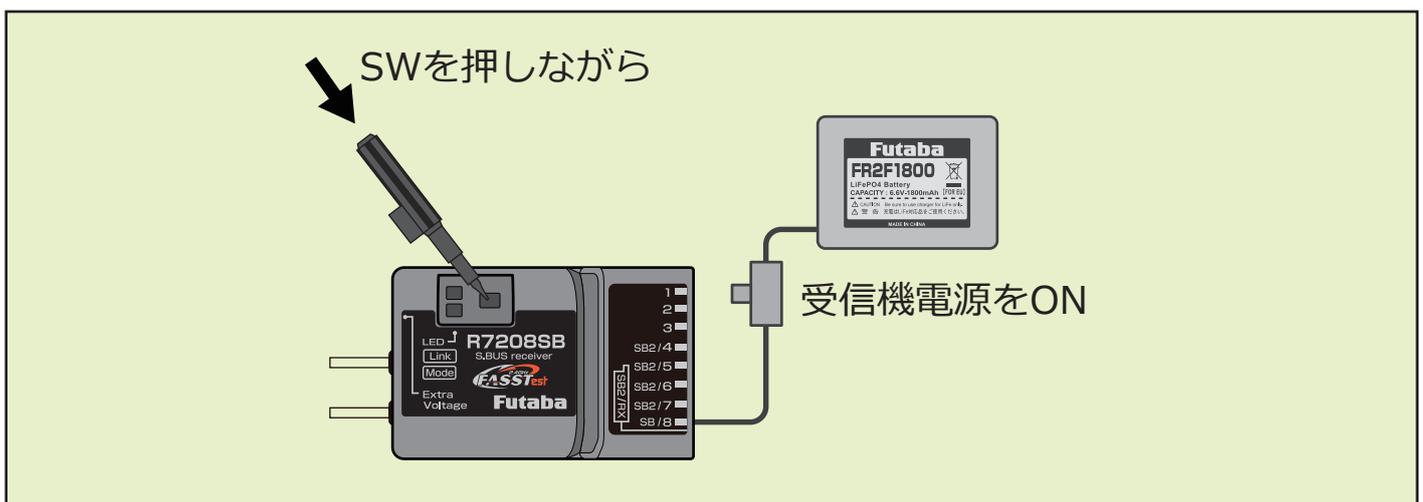


※ R7208SB と R7308SB のアップデートファイルは共通です。  
R7308SB も R7208SB アップデートファイルをご使用ください。

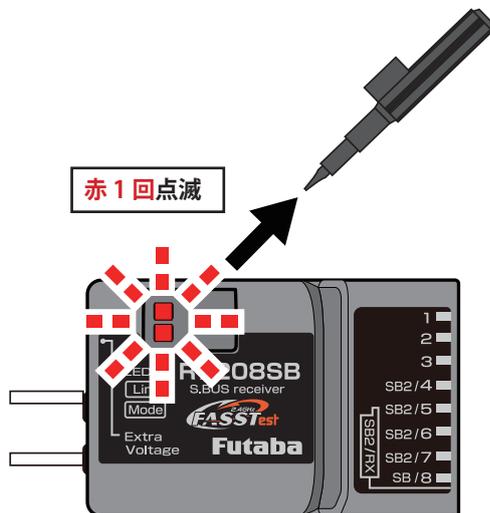
4. 図のように R7208SB/R7308SB とパソコンを CIU-3 を介して接続します。



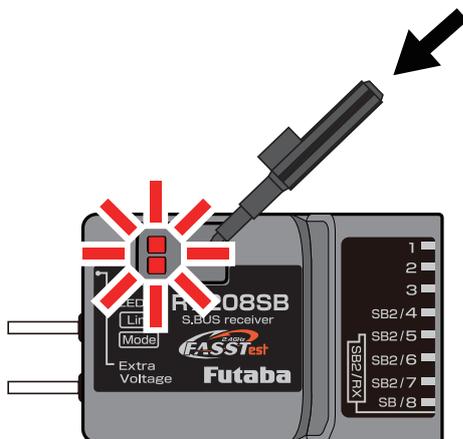
5. SW を押したまま受信機電源を ON します。



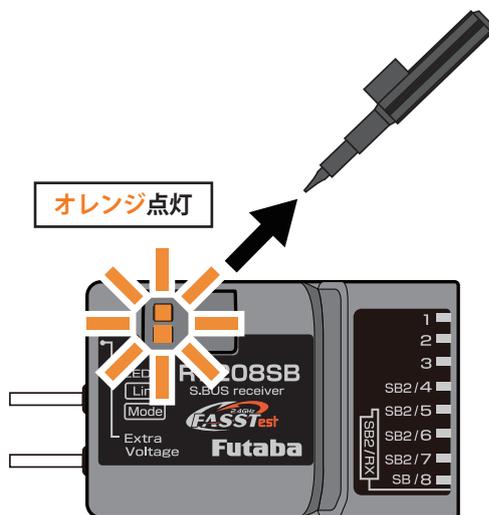
6. 赤が1回点滅したら SW を離します。



7. すぐに SW を長押しします。

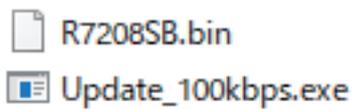


8. オレンジ点灯になったら SW を離します。



受信機がアップデート待ち状態になりました

9. PCへコピーしたアップデートファイルを実行します。



10. 受信機のLEDがオレンジ点灯のままPCソフトの「アップデート開始」をクリックします。

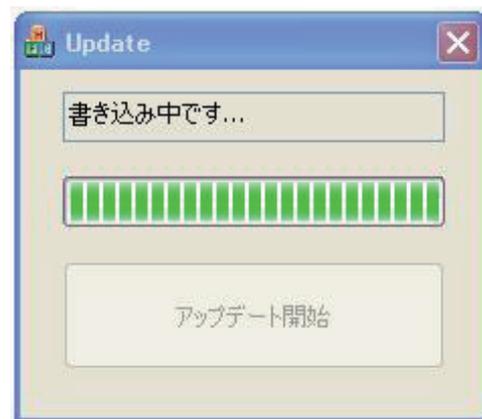
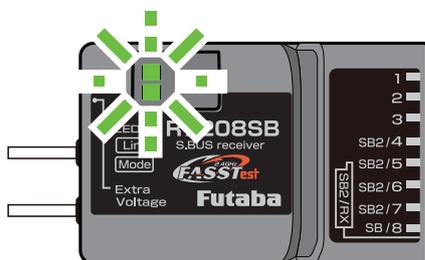


11. 「R7208SBをアップデートします。よろしいですか？」と表示されるので、「OK」をクリックします。



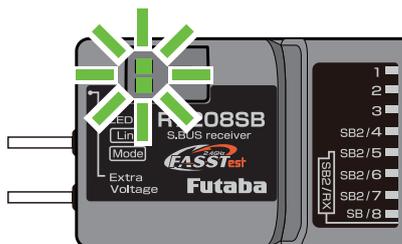
12. アップデートが開始されます。アップデート中は、PCソフトのUpdateのバーグラフが進行し、R7208SB/R7308SBの緑LEDがチラチラと点滅します。

緑がチラチラ点滅



13. アップデートが完了すると、R7208SB/R7308SBの緑LEDが点灯します。PCに完了のメッセージ・ボックスが表示されます。

緑点灯でアップデートOK



以上でアップデート作業が終了となります。「OK」を押して電源をOFFし、製品からケーブルを取り外して下さい。

動作確認を行い、正常に動作することを確認して下さい。

# T16IZS(V4.0~), T16IZ(V6.0~), T26SZ を使用する場合

## アップデート手順

1. 受信機のアップデートファイルを Futaba WEB よりお持ちの PC にダウンロードします。

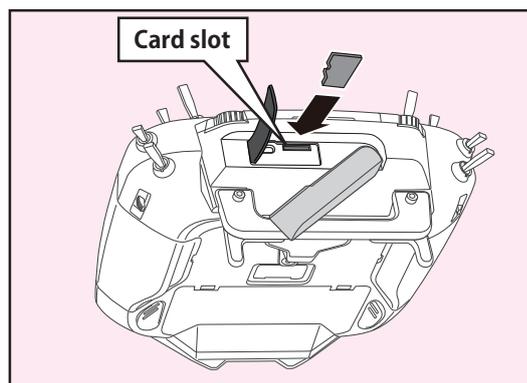
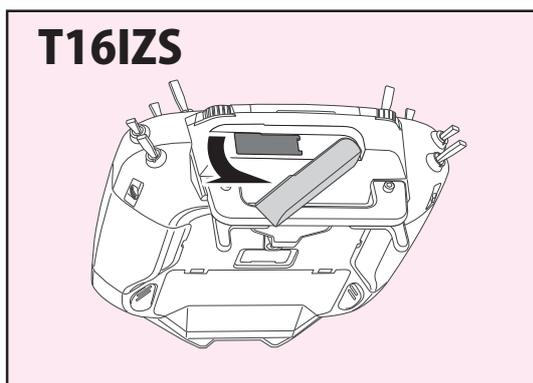
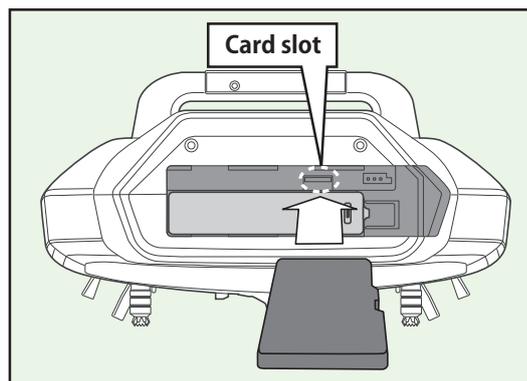
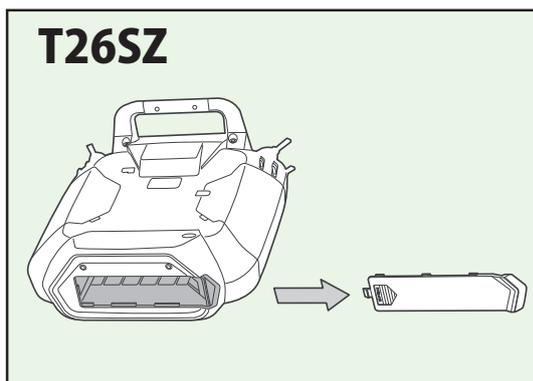
<https://www.rc.futaba.co.jp/>



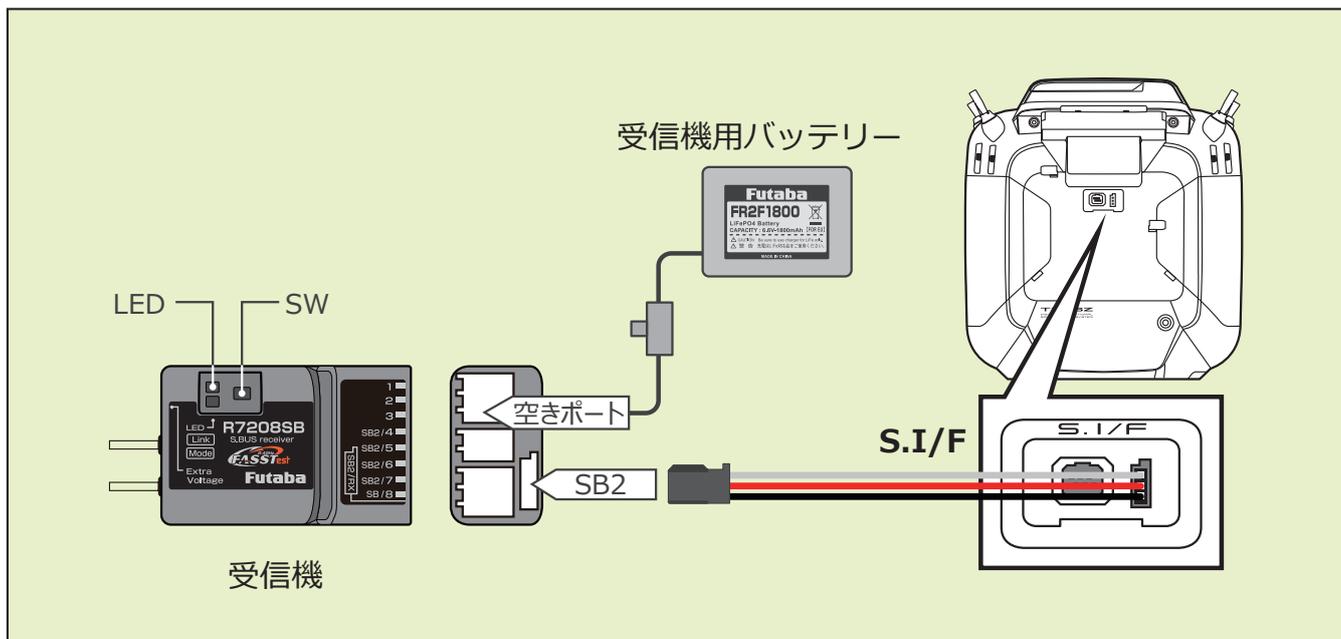
2. ダウンロードしたアップデートファイル (zip 圧縮形式) を展開 (解凍) します。

3. PC にマイクロ SD カードを挿入して、PC 上で展開した「FUTABA」フォルダーをマイクロ SD カードにコピーします。

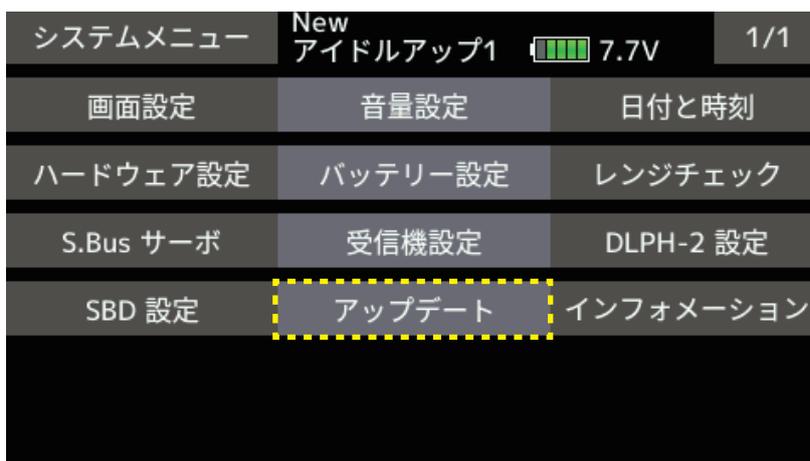
4. 「FUTABA」フォルダーをコピーしたマイクロ SD カードを、送信機のカードスロットに挿入します



5. 図のように受信機と送信機裏面の S.I/F ポートを接続します。

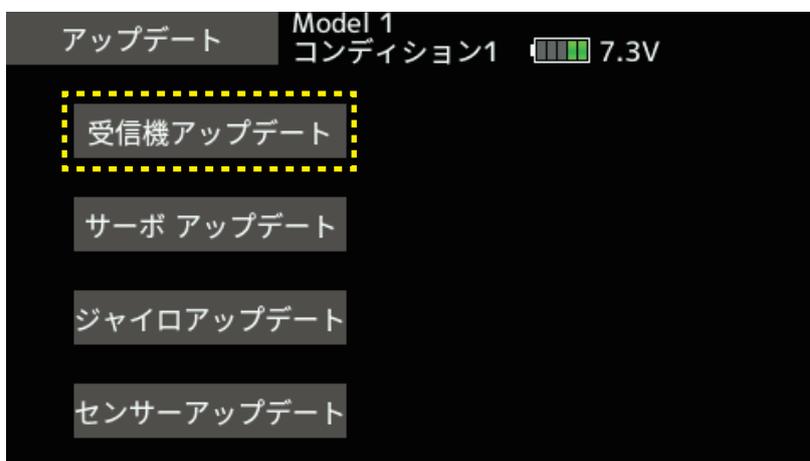


6. 送信機の電源を ON し、システムメニューから [アップデート] を開きます。

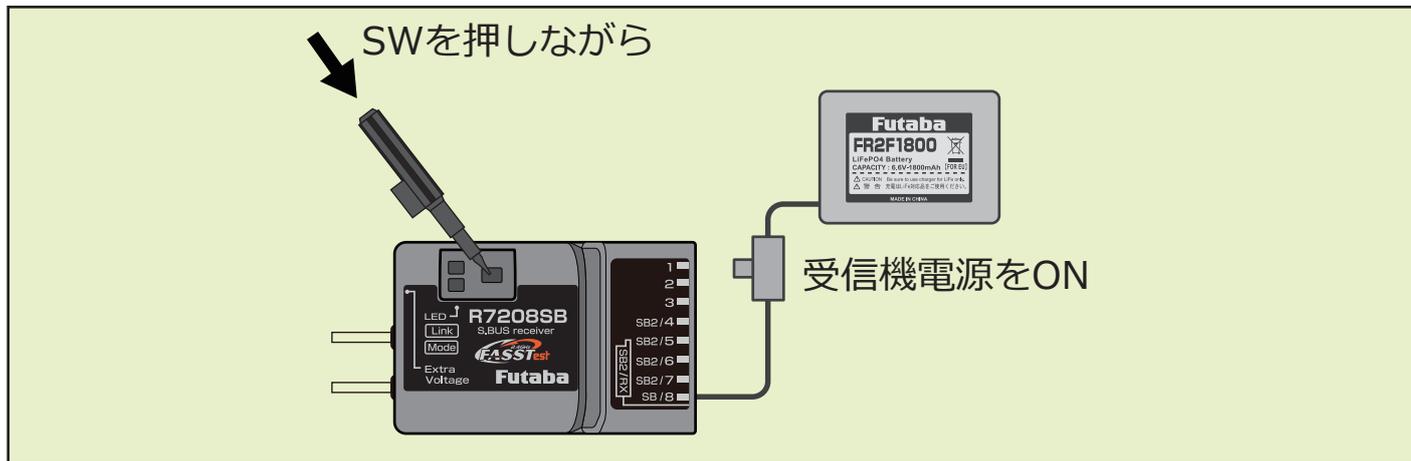


※送信機の機種により表示画面は異なります。

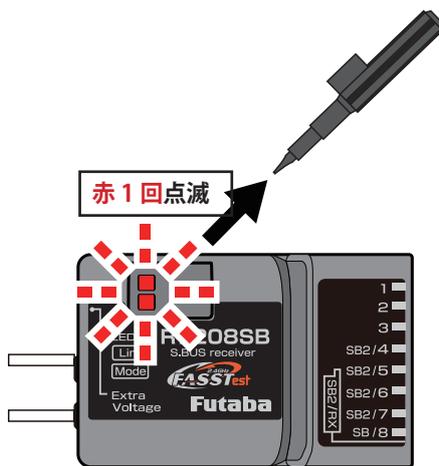
7. [受信機アップデート] → [R7208SB] をタップします。 ※ R7308SB も R7208SB をタップします。



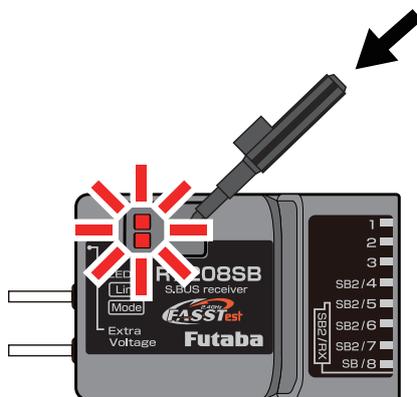
8. SW を押したまま受信機電源を ON します。



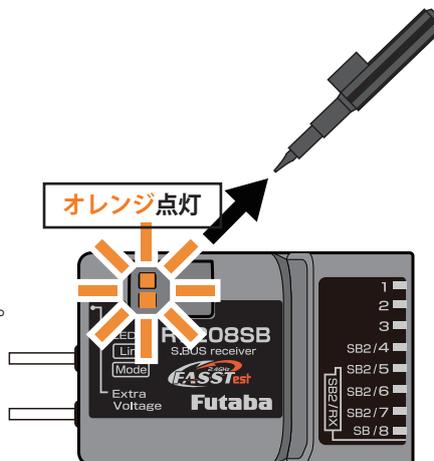
9. 赤が1回点滅したら SW を離します。



10. すぐに SW を長押しします。

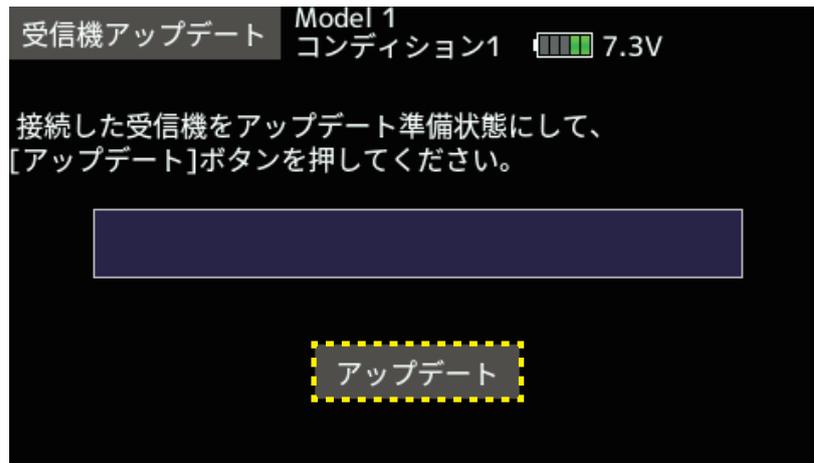


11. オレンジ点灯になったら SW を離します。

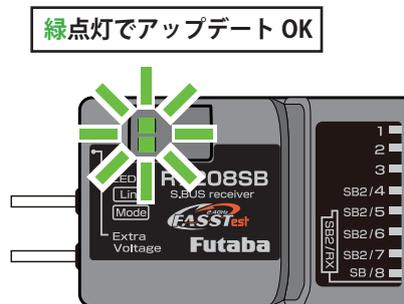


受信機がアップデート待ち状態になりました

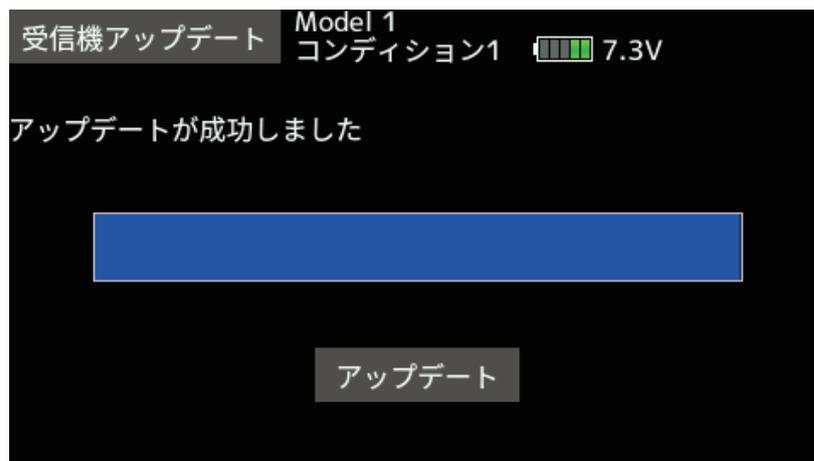
12. 送信機の [アップデート] ボタンをタップします。



13. アップデートが完了すると、R7208SB/R7308SB の緑 LED が点灯します。



14. 終了すると、送信機は以下の表示になります。



15. バージョンは [システムメニュー] → [受信機設定] → [読み込み] をタップすると確認できます。

16. 各接続を外します。

## V2.1 アップデート内容

- リンク処理を改善しました。
- デュアル RX リンクモードのサブ RX /DLPH-1/DLPH-2/FDLS-1 接続時の処理を改善しました。

## V2.0 アップデート内容

- FASSTest26CH に対応しました。
- チャンネルモードを拡張 (MODE H,I,J) しました。

受信機 CH 出力モード一覧表

出力コネクタ	設定チャンネル									
	モード A	モード B	モード C	モード D	モード E	モード F	モード G	モード H	モード I	モード J
1	1	1	1	1	9	9	9	17	17	17
2	2	2	2	2	10	10	10	18	18	18
3	3	3	3	3	11	11	11	19	19	19
SB2/4	4	4	4	S.BUS2	12	12	12	20	20	20
SB2/5	5	5	5	S.BUS2	13	13	13	21	21	21
SB2/6	6	6	6	S.BUS2	14	14	14	22	22	22
SB2/7	7	7	S.BUS2	S.BUS2	15	15	S.BUS2	23	23	S.BUS2
SB/8	8	S.BUS	S.BUS	S.BUS	16	S.BUS	S.BUS	24	S.BUS	S.BUS
LED 点滅回数	赤 1 回	赤 2 回	赤 3 回	赤 4 回	赤 5 回	緑 1 回	緑 2 回	緑 3 回	緑 4 回	緑 5 回

- デュアル RX リンクモードモード時の、DLPH-1/DLPH-2/FDLS-1 と接続時の不具合を修正しました。
- 送信機からの受信機設定に対応しました。

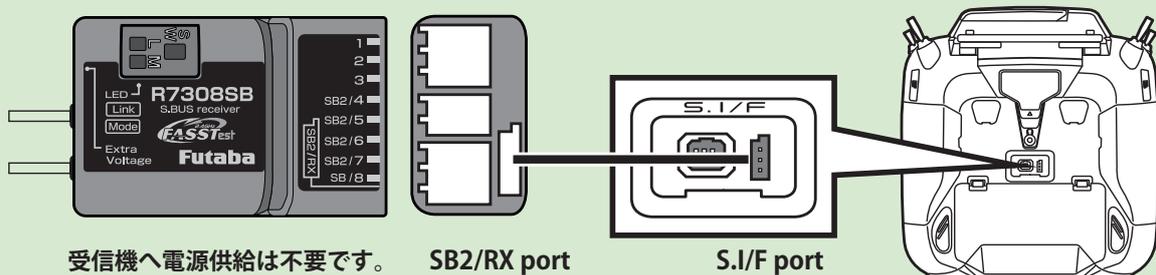
※ FASSTest26CH 使用時は受信機を必ず V2.0 へアップデートしてください。

※ T16IZ,T16IZS は 17ch 以降の操作はできません。

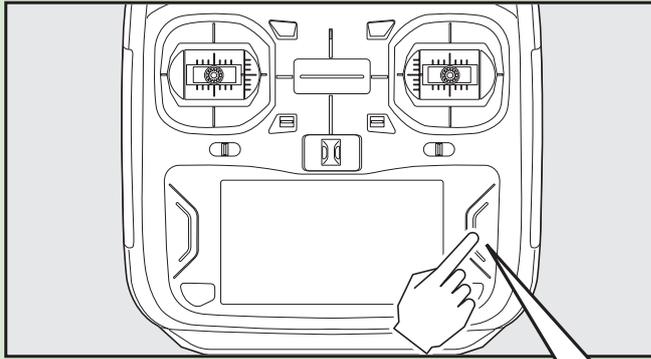
T26SZ, T16IZ(V6.0~), T16IZS(V4.0~), T32MZ-WC, T32MZ(V3.9~) に受信機を接続するとバージョンの確認ができます。受信機のバージョンが V1.3 以前の場合はバージョン確認ができません。バージョン確認ができない場合は V2.0 へバージョンアップしてください。

### T26SZ, T16IZ(V6.0~), T16IZS(V4.0~) を使用したバージョン確認方法

①受信機の S.BUS2 ポートと送信機の S.I/F ポートをケーブルで接続します。



- ②送信機が OFF の状態で、送信機の **U.MENU/MON.** ボタンを押したまま電源スイッチを押します。  
電波が送信されない状態で送信機が動作します。



### HOME/EXIT を押しながら電源 ON

- ※受信機が電波を受信している状態では、設定を行うことはできません。
- ※受信機設定後に受信機を使用する場合は、送信機の電源を入れ直して電波を送信してください。

- ③システムメニューから【受信機設定】画面を開きます。



- ④【読み込み】ボタンをタップします。

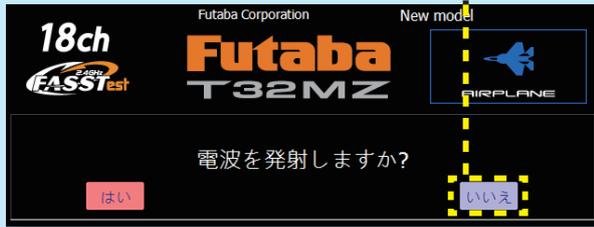


- ⑤受信機のバージョンが表示されます。



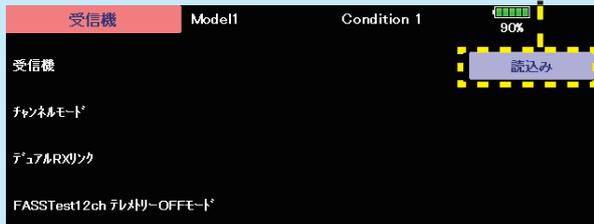
## T32MZ-WC, T32MZ(V3.9~) を使用したバージョン確認方法

- 送信機の **U.MENU/MON.** ボタンを押しながら電源 SW を ON します。
- いいえをタップします。



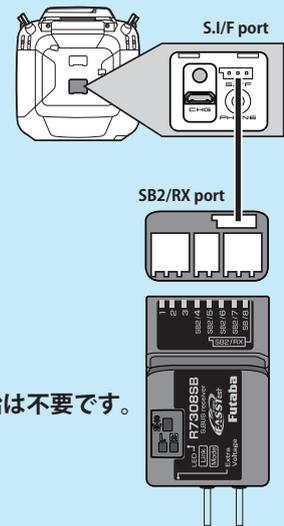
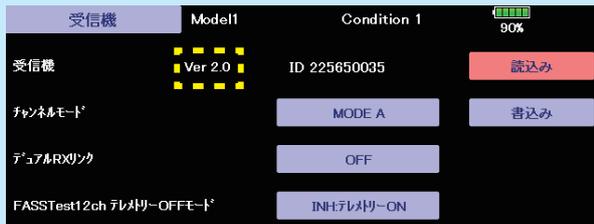
※安全のため電波が発信した状態では受信機設定ができません。

- 右図のように受信機を送信機へ接続します。
- システムメニューから **【受信機】** 画面を開きます。
- 読み込みをタップします。



受信機接続後 10 秒以内に読み込みをタップしてください。10 秒経過するとエラーとなりますのでやり直してください。

- 接続された受信機の Ver. が表示されます。



受信機へ電源供給は不要です。

## V1.3 アップデート内容

- FASSTest12ch テレメトリ OFF モード使用時に受信エラー時 F/S が働かない不具合を改善しました。
- テレメトリ回転センサー (SBS-01RM/RO/RB) の回転数表示が 0 にならない不具合を改善しました。
- R9001SB とデュアル RX リンクモード使用時にバッテリーフェールセーフ状態になった際にバッテリーフェールセーフ設定 CH がジッタする不具合を改善しました。
- FASSTest12ch モードで R9001SB とのデュアル RX リンクモード使用時に操作レスポンスを改善しました。

このシリアルナンバーが 2349 ~ 2353 が V1.3 アップデート対象品です。

受信機裏面



2354 以降は V1.3 アップデート対応済です。

今回のアップデートは不要です。

このシリアルナンバーが 2349 ~ 2353 でも下の写真のように白マルシールが貼ってるものは V1.3 アップデート対応済です。今回のアップデートは不要です。



受信機側面

## V1.1 アップデート内容

- 一部に送信機とリンクできない場合がある問題を修正しました。

受信機裏面



このナンバーが 2351 以前の受信機が V1.1 対象です。2352 ~ の受信機は V1.1 アップデートの必要がありません。